



地域の信奉を集める高道祖神社の節分祭

高道祖神社「道祖神祭」2月21日

毎年、旧暦1月14日に行われる高道祖神社の「道祖神祭」。子授け祈願と招福を願う節分祭として追儼の豆まきが行われました。

今年は2月21日が旧暦1月14日。日曜日の開催となり、子授けの祈禱には市内外から多くの参拝者が訪れました。社務所では、同神社の縁起物である陰陽物を模した紅白のしん粉餅が販売され、男性は女陰を模した方を、女性は陽物を模した方を食べると、ご利益が増すとされています。

日中には高道祖幼稚園の園児たちが道祖神祭に参加。園児たちが折った千羽鶴を奉納したり、氏子から地域の伝え話を聞いたりした後、豆まき用の特設台から「これからも元気に、大きくなりますように」と願いを込めて豆まきをしました。



▲追儼の豆まきでにぎわう高道祖神社境内



▲元気に豆まきする高道祖幼稚園の園児たち

特別交付税の増額等の財政措置を総務大臣に要望

関東・東北豪雨で被災した茨城県の10市町の首長等(古河市、結城市、下妻市、常総市、守谷市、筑西市、坂東市、つくばみらい市、八千代町、境町)は2月19日、総務省を訪問し、「平成27年9月関東・東北豪雨災害に係る特別交付税に関する要望書」を提出しました。

災害発生から約5か月。早期の復旧・復興に向けて地域が一体となり国と連携した施策推進に取り組んでいる中、依然として多くの住民の日常生活に支障をきたしていることや農業被害も甚大であることを土屋正忠・総務副大臣に説明し、緊急を要し欠すことができない財政需要が多額に上っている状況から、特別交付税の増額等の財政措置を強く要望しました。



総務省の土屋副大臣(右から5番目)に要望書を手渡す
吉原・坂東市長(右から6番目)、野中・下妻市副市長(左から4番目)

関東・東北豪雨災害からの復旧・復興

「水害ごみ」搬出が本格化 環境副大臣が視察

関東・東北豪雨の大規模水害によって常総市内で発生した災害廃棄物(水害ごみ)の仮置き場となっている市内中居指の茨城県県西流域下水道事務所・きぬアクアステーションで1月29日、民間業者により三重県の処理施設への搬出作業が本格的に始まりました。

同ステーションには約1万3千トンの水害ごみが保管されており、3月末までに撤収を完了する予定で、日曜日を除きトラックで運び出し、東京湾からは海上輸送されます。

井上信治・環境副大臣は、仮置き場の現状や運搬作業を視察した上で、「環境省として最大限、財政的な支援を調整している。技術面でも支援を続けていきたい」と述べました。



水害ごみの搬出作業を視察する環境省の
井上副大臣(右から2番目)と稲葉市長(右から1番目)

「ピアスパークしもつま」 営業再開

関東・東北豪雨の水害で営業を停止していた「ピアスパークしもつま」が2月18日、約5か月ぶりに営業を再開しました。

豪雨による鬼怒川の越水で本館の一部を除き、農産物直売所やバーベキュー場、農園などが冠水し、電気設備やボイラーなどの機械類が使用不能となっていました。市では施設の早期復旧を目指し、補正予算を組んで災害復旧工事を行い、温泉、ホテル、レストラン、宴会場、セミナーハウス、本館口ピー売店、農産物加工施設の主要施設で年度内の営業再開を遂げました。

復興記念で「しもつま温泉」が無料開放となったこの日は、午前9時半の開館前から行列ができ、入



営業再開でにぎわう本館口ピー売店やしもつま温泉

浴開始時間の繰り上げや入場制限を行う場面がありました。常連客の70代女性は「待ちに待った。良かったね。温泉を楽しみにしていた」と笑顔で従業員に話しかけていました。

ほっとしポ・ライン Hot Repo Line 市民の声

下妻での農業体験をきっかけに東京都の中央区立泰明小学校と交流を深める総上小学校。同校PTA会長を務める木瀬裕さん(小島)からのお便りを紹介します。

私たち総上小学校PTAが住む地域には、田んぼや畑、山に川。とにかく自然がいっぱいです。そんな総上地区だからこそできた素晴らしい体験があります。それは、都会の子どもたちやその保護者との交流です。

昨年春、先輩から一本の電話が…。内容は「来週の日曜日、東京から子どもらが農業体験に来たらPTA会長も顔出せよ～」でした。最初は「はあ??」でしたが、話をよく聞くと、先輩が経営する「株式会社ライス&グリーン石島」は農作物の生産、販売だけでなく、全国からさまざまな団体の農業体験を受け入れており、今回、東京の泰明小学校PTAの皆さまが、児童を連れて田植え体験に来られるので、交流を深めてはどうかという提案でした。泰明小学校といえば、私の青春時代に大ブレイクした「教師ピンピン物語」のモデルとなった小学校です。ミーハーな私はその理由だけで話に乗ったわけですね…(笑)

田植え体験当日、そして秋には再度お越しいただき稲刈り体験。ある程度の予測はしていましたが、都会の方たちは本当に「自然」に飢えているのですね。子どもはザリガニやカエルを初めて見たかのように珍しく扱

「子どもたちの純粋さ」

い、大人は大自然を目の当たりにし、感動し涙を流す方までおられました。非常に貴重な体験と交流をさせていただきました。

交流はこれだけに留まらず、冬には私たち総上小学校PTAが泰明小学校の「餅つき大会」にお呼ばれです。銀座のど真ん中…というだけでドキドキしましたが、餅つき大会が始まり、「よいしょ!よいしょ!」と声をかけあえば、あっという間に楽しい時間が過ぎていきました。

今回の交流を通して感じたのは「子どもたちの純粋さ」です。田舎の子どもだから…、都会の子どもだから…、といった違いは全くなく、田植えや稲刈り、餅つきにしても、初めてのことに目をキラキラさせているのが非常に印象的でした。私たち大人は、そんな子どもたちの成長を身近で感じることができるのですから幸せ者ですね。



餅つきで交流する両校PTAの皆さん(12月19日、泰明小学校体育館で)

有料広告欄

有料広告欄